

令和4年

雲南市議会 12月定例会 一般質問通告一覧表

【一般質問日程 令和4年12月5日～12月7日】

令和4年雲南市議会 12月定例会 一般質問通告一覧表 目次

| 順番 | 日程 | 議席番号／氏名 | 質問方式 | ページ | 順番 | 日程 | 議員番号／氏名 | 質問方式 | ページ |
|----|--------------------|----------|------|-------|----|--------------------|----------|------|-------|
| 1 | 12/5(月) 9時30分～ | 17／藤原 信宏 | 一括 | 1～3 | 11 | 12/7(水) 9時30分～ | 8／上代 和美 | 一問一答 | 21～23 |
| 2 | | 6／梶谷 佳平 | 一問一答 | 3～5 | 12 | | 12／中村 辰眞 | 一問一答 | 23～25 |
| 3 | 12/5(月) 13時00分～ | 13／原 祐二 | 一問一答 | 5～7 | 13 | 12/7(水) 13時00分～ | 2／安田 栄太 | 一問一答 | 25～27 |
| 4 | | 5／鶴原 能也 | 一問一答 | 7～10 | 14 | | 11／松林 孝之 | 一問一答 | 27～29 |
| 5 | | 10／中林 孝 | 一問一答 | 10～11 | 15 | | 15／周藤 正志 | 一問一答 | 29～31 |
| 6 | 12/6(火) 9時30分～ | 3／児玉 幸久 | 一問一答 | 11～12 | | | | | |
| 7 | | 9／足立 昭二 | 一問一答 | 12～14 | | | | | |
| 8 | 12/6(火) 13時00分～ | 4／上代 純子 | 一問一答 | 14～17 | | | | | |
| 9 | | 16／細田 実 | 一問一答 | 17～18 | | | | | |
| 10 | | 1／多賀 法華 | 一問一答 | 18～21 | | | | | |

令和4年雲南市議会 12月定例会 一般質問通告一覧表

令和4年11月24日

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|-------------------------|--|--------|
| 1 | 17 | 藤原 信宏 (一 括) | 1. 太陽光発電設備 の廃棄問題について | <p>2012年開始の再生可能エネルギー固定価格買取制度等により急速に普及してきた太陽光発電設備であるが、2030年頃から寿命を終えたパネルの廃棄が急増すると見込まれている。リサイクルには高額な処理費用がかかるため、比較的安価な埋め立て処分が選択され、その埋立て能力に加えて、有害物質が染み出す等の公害も危惧されている。早急にリサイクルを促進し最終処分量を縮減していくことが喫緊の課題である。</p> <p>(1) 太陽光パネルを最終処分する遮水設備のある管理型埋め立て処分場は確保できているか。また、技術革新によりリユース、リサイクルが実用化される目処は、現時点で立っているかどうか伺う。</p> <p>(2) コスト負担を嫌ったパネルの不法投棄を防ぐため、事業者の責任を明確にする規制、有用・有害物質の情報提供と適正処理の啓発、処分・リサイクル事業者の確保並びに効率的な処理体制の確立に向けて、市はどのように取り組んで行く考えか。</p> <p>(3) 令和2年6月に再エネ特措法が改正され、廃棄コストを事業者が受け取る電気供給の対価から源泉徴収的に控除し、第三者機関が積み立てることになった。この外部積み立てについて、認定発電事業者が廃棄費用の調達期間の途中で、事業継続不能や認定取消しとなった場合、積み立て義務は代替え請負者に引き継がれるか。また、発電設備を放置した場合、行政代執行等による解体処分費用は積立金から支出されるか。</p> <p>(4) 廃棄費用の積み立て義務化に10kW未満の家庭用太陽光発電は含</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|-------------|---|--------|
| | | | 2. 観光振興について | <p>まれない。家庭用等の小口排出について、感電事故等に対する取り扱いの注意喚起を含めた適正処理の徹底啓発と共に、効率よく回収できるルートの確立が急がれるが、その対応について伺う。</p> <p>(1)6 町村が合併した雲南市は、価値ある観光資源に恵まれ、悠久の歴史ロマン溢れる観光の宝庫である。メニューは実に豊富だが、多彩な素材は印象としてバラバラでインパクトに欠け、位置的にも分散している。以前にも質問したが、雲南市の観光資源売り込み戦略は、ネットワーク化した回遊型と、個別或いは地域別発信の、いずれに重点をおいて集客を図る考えか。また、「主要な観光資源を一括りにした印象深いキャッチフレーズ」は、「生命と神話が息づく日本のふるさと」との答弁であった。改めて考えを伺う。</p> <p>(2) コロナ禍で落ち込んだ観光入込客の回復を図らねばならない。ウイズコロナ或いはアフターコロナを見据えたこれからの観光振興、コンテンツや観光資源の磨き上げについて、総括的な戦略方針を伺う。</p> <p>(3) 市長の観光協会会長就任は、行政依存度が高かった観光協会を、民間のより主体的な参画を得て独立し組織力を強化するとした一般社団法人化の流れ、趣旨に逆行する。市長は、木次線の活用を軸とした広域観光を行政一体となって推進するために必要だ、との考えから就任されたと解して良いか。</p> <p>(4) 木次線の存続、利用促進の一番の課題は輸送密度の増加であり、観光振興はその一方策に過ぎない。根幹の課題は行政主導で取り組むべきで、利用促進全体を観光協会に負わせるが如くの広域観光推進では、協会の負担が重すぎると考えるがどうか。併せて、木次線</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|-----------------|-------------|---|--------|
| | | | | <p>を活用した現段階での広域観光振興策を伺う。</p> <p>(5) 華があるべき観光協会が、どこが入口かも分からない建物の2階に潜んでいてはならない。例えば、現在空室のコトリエット商業施設の一角に移って、観光案内をする、土産物や産直品を売る、イベントを開催するなど、精力的に賑わいを創出し観光振興の促進を図って欲しいものだが、どう考えるか。</p> <p>(6) 市長は、雲南市さくらの会の会長に就任された。市が主体的に関わるのであれば、取り組みを一層市内全域に広げて、雲南市共通の誇りとなる「日本一の桜のまちづくり」の発展に繋げることが責務と考える。貴重な財産である桜を有効に活用する「雲南市全体の桜のまちづくり」をめざす市長の想いを伺う。</p> <p>(7) 来季の桜まつりに併せて、パノラマバスツアーや今年的人力車等を企画してはどうか。また、好評の瑞風バスの立寄り観光に永井隆記念館を加え、「平和を」の願いを積極的に発信することはできないか。</p> | |
| 2 | 6 | 梶谷 佳平 (一問一答) | 1. 産業振興について | <p>学生が企業を選ぶ時、注目するポイントが発表されている。2023年度卒業生を対象にしたマイナビアンケート結果(内22年度卒)では、①在宅勤務など新型コロナウイルス感染症から社員を守る対策を行っている：43.1%(51.4%)、②社員の人間関係が良い：35.9%(36.8%)、③自分が成長できる環境が有る：32.4%(34%)、④福利厚生制度が充実している：27.9%(25.7%)、⑤給与や賞与が高い：23.1%(18.4%)⑥希望する勤務地で働ける：22.3%(20.2%)、⑦企業経営が安定している：17.7%(16.8%)との結果であった。やはり、自分の心と体をいかに企業が守ってくれるかを重要視し、風通しの</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|--------|--|--------|
| | | | | <p>良い企業風土を作っている企業に新入社員が多く応募していると思う。更に、社員が成長するための研修会や資格取得支援・福利厚生制度の充実も重要視されており、給与は5番目に位置している。結局これらを実施するためには、企業体質が健全でなければならない。企業体質が健全とは、人間に例えると健康体で体力があり、同時にある程度の収入があり、貯蓄等の財産もあることを言う。企業体質が健全であれば、新商品開発のための市場調査・研究開発等が可能となり、さらなる企業の発展が期待できる。めざせ自社製品・無借金経営である。雲南市は、人口減少に歯止めをかける定住対策と並行して中・長期計画による地元企業の体質の健全化支援を図られねば、働く場の選択・高校大学の選択・病院の選択等を天秤にかけられ、住民の市外流出が今後も続くし、雲南市に帰らないことが懸念される。</p> <p>(1)雲南市としては市内企業の体質強化支援は何を行っているのか。当然、企業ごとに体質は異なるので、企業と協議のうえで実施しているその様な中長期支援プランが有るのか伺う。</p> <p>(2)若者が地元に戻り、地元の企業に就職していただくための支援について伺う。</p> <p>(3)令和4年9月末時点の有効求人倍率は、日本全体：1.34倍。県別では、①：福井県1.97倍、②：島根県1.75倍。島根県内別：①隠岐の島：2.25倍、②浜田市：2.15倍、③益田市：1.85倍、④松江市：1.77倍、⑤川本：1.68倍、⑥出雲市：1.67倍、⑦大田市：1.63倍、⑧雲南市：1.54倍。市内企業の多くは知名度が低い。雲南市出身の学生や市内で就職したい方のための情報提供の一つとして、市</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|---|--|--------|
| | | | <p>2. 農業支援について</p> <p>3. 医療費支援について</p> <p>4. 地域おこし協力隊の募集等について</p> | <p>内求人企業の HP を市 HP 上のバナー広告に掲載する支援はなぜ行わないのか伺う。</p> <p>農業も産業である。生活できる収入が有るか否かによって事業継続・後継者確保の話が浮上する。もうからない農業は、農地荒廃・離農・人口減少に繋がって行く。雲南市として行っている、ハード・ソフト面の支援について以下の項目について伺う。</p> <p>(1) 農業生産者の生産性向上・付加価値向上支援において、市の中長期支援計画を伺う。</p> <p>(2) 地産地消率のアップについて伺う。</p> <p>(3) 農業生産者の収益力向上支援について伺う。</p> <p>(4) 個別農家・高齢化する営農組合支援について伺う。</p> <p>(1) 高校 3 年生終了まで、医療費の無料化について伺う。この質問は、令和 3 年 12 月定例会一般質問の答弁で「高校 3 年生までの医療費無料化を検討する」との回答をいただいた。その後の検討状況について伺う。</p> <p>(1) 直近 3 年間の募集テーマ・募集人数について伺う。</p> <p>(2) 地域おこし協力隊員が住む住宅について伺う。</p> | |
| 3 | 13 | 原 祐二 (一問一答) | 1. 今後の教育行政について | <p>(1) 教育長の選任において、教育長の果たすべき任務や使命(ミッション)・期待する成果について、市長の所見を問う。</p> <p>(2) 今任期(令和元年 12 月 9 日から令和 4 年 12 月 8 日)を終えるにあたり、教育長として果たすべき任務や使命(ミッション)についての自己評価と今後の抱負を問う。</p> <p>(3) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律における、市長就任後</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|---------------|--|--------|
| | | | 2. 物価高騰対策について | <p>の総合教育会議の開催状況と協議事項・情報公開の状況について問う。</p> <p>(4) 子どもの人口数減少が見込まれるなか、コミュニティと教育提供区域(校区・学校運営協議会)のあり方について、市長の見解を問う。</p> <p>(5) 教育提供区域(校区・学校運営協議会)における、望ましい学校規模と地域の実情に応じた規模と配置について、教育長の見解を問う。</p> <p>(6) 小規模校(少人数学級・複式学級)のメリットとデメリットを問う。</p> <p>(7) 小規模校(少人数学級・複式学級)の豊かな自然に囲まれた環境と少人数による教育のよさを生かし、きめ細やかな指導や特色ある学校づくりを推進し、市全域から通学できる「小規模特認校制度」について、教育長の見解を問う。</p> <p>(8) 複式学級の編成において、県基準(2の学年の児童で編制する学級16人、第1学年の児童を含む学級にあっては8人)を下回る場合、全学年とも2つの学年を足した人数を緩和する教員加配(市費対応)について、制度導入の可否を問う。</p> <p>(9) 市教育基本計画では、適正規模適正配置基本計画の基本的な5つの考え方をふまえ、保護者・地域との合意を最優先に、より良い教育環境の整備に努めるとしているが、児童・生徒の減少を見据え、現状を考慮した5つの考え方の見直し、合意形成の方法を問う。</p> <p>(1) 国や県が実施する、物価高騰対策(支援)の範囲や方法についての評価と市独自で実施する対策(支援)のあり方について、市長の見解を問う。</p> <p>(2) 令和4年9月末における、世帯全員の住民税「均等割が非課税」</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|-----------------|--------------------------|--|--------|
| | | | 3. 会計年度任用 (非正規)職員について | <p>である世帯数、「所得割のみ非課税者のみ」または、「所得割のみ非課税者と住民税非課税者」である世帯数を問う。</p> <p>(3)住民税「所得割のみ非課税者のみ」または「所得割のみ非課税者と住民税非課税者」の世帯等に対する、市独自の物価高騰(電力・ガス・食料品等)対策・給付事業の創設(2万円から3万円/世帯)について、市長の見解(可否)を問う。</p> <p>(1)市役所、水道局、市立病院における、会計年度任用(非正規)職員の役割と人材確保、処遇(総務省通知 R4.1.20)について、雇用者としての見解を問う。</p> <p>(2)厳しい財政・雇用状況の中、市民サービスを維持するためには、会計年度任用(非正規)職員の確保が重要と考えるが、会計年度任用職員の任用規定等と再度任用(3年目公募)について、雇用機会均等、成果主義、安定した雇用・人材確保等の観点・優先順位を問う。</p> | |
| 4 | 5 | 鶴原 能也 (一問一答) | 1. 農業振興について | <p>(1)畜産の振興について</p> <p>①第12回全国和牛能力共進会(鹿児島全共)の評価と課題、今後の取り組みについて見解を伺う。</p> <p>②和牛肥育センターの事業の継続を求めたが、JAしまねからは「直営の見直し(事業廃止・事業譲渡等)を前提に」との回答があった。第12回全共において第6区肉牛の部で1位、「脂肪の質の能力が優れている」という評価を受けた牛の生産者である吉田肥育センターがある雲南市として、この回答に対する見解と今後の取り組みについて伺う。</p> <p>③飼料価格の暴騰等から大東町でも酪農家が廃業に追い込まれた。雲南市内の酪農業の実情と支援策等について見解を伺う。</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|---------------|--|--------|
| | | | 2. 学校の諸課題について | <p>(2)鳥獣被害防止の取り組みについて</p> <p>①イノシシ被害の現状について伺う。また、今年度事業でイノシシの捕獲頭数増加を見込んだ商品化と販売先の確保、事業化の可能性、そして食肉処理施設整備について検討するとされているが進捗状況を伺う。</p> <p>②猿、鹿の被害の実態と対策について伺う。</p> <p>(3)ほ場整備事業の採択要件として、高収益作物である県推進6品目の取り組みが重要とされているが、中山間地、稲作農家には「推進6品目の取り組みが難しい」という声を聞くが見解を伺う。</p> <p>(4)肥料価格高騰対策事業の対象農家が、「化学肥料の低減に向けて取り組む農業者」に限定されていることについて見解を伺う。</p> <p>(5)雲南市における担い手の育成(後継者づくり)、儲かる農業実現のための具体的な取り組みについて伺う。</p> <p>(6)耕作放棄地の現状と解消、拡大防止に向けた取り組みについて伺う。</p> <p>(7)令和5年度当初予算編成方針に、「より強靱な産業への転換」とあるが、「強靱な産業としての農業」とは具体的にどのような農業をイメージするものか伺う。</p> <p>(1)児童生徒の不登校について 文部科学省の調査で、2021年度全国の小中学校で不登校の児童生徒が24万4,940人に上ったと報道された。雲南市における令和4年1学期末の不登校(30日以上欠席)、また不登校傾向にある児童生徒数の実態を伺う。また不登校児童生徒への対応と「出さない」対策について現状と見解を伺う。</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|------------------------------|--|--------|
| | | | 3. 観光列車「あめ つち」の導入につ いて | <p>(2) 通学路の安全確保について</p> <p>①9月19日主要地方道松江・木次線の新庄地内において、歩道を飛び越えて沿線民家に車が飛び込む大事故が発生した。幸いに通学時間帯でなかったため児童生徒が巻き込まれることはなかった。今回事故が発生した県道沿線(約600m区間)で過去5年間に発生した交通事故について雲南警察署に照会したところ、人身事故2件、物損事故29件が発生しているという回答があった。過去に発生した交通事故発生の実態が、通学路の安全点検による危険箇所の洗い出しに反映され、また関係機関が参画する会議等において情報の共有化が図られ、そして事故防止に活かすことが出来ないのか見解を伺う。</p> <p>②今回事故があった付近を含め、白線が消えてしまった、また消えかかった横断歩道・外側線・センターラインが多いが、児童生徒を巻き込む重大事故未然防止のためにも早急な対応が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>(1)「スイッチバックがあってこそその木次線」の目玉であるトロッコ列車が2023年度を最後に運行を終え、代わりに観光列車「あめつち」が導入される。次の沿線の皆さんの声に対し木次線利活用推進協議会の会長である市長の感想、見解を伺う。</p> <p>①「あめつち」を走らせる代替案について、奥出雲町の前勝田町長は、出雲横田までの運行と聞き、正直ショックだった。観光誘客につながるか不安が募った。このことについて感想を伺う。</p> <p>②リピーターになって貰えるコアな鉄道ファンを意識したダイヤの設定、また飛行機、バスなど様々な交通機関との接続体制の整備が必要ではないか。</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|-------------------------------------|--|--------|
| | | | | ③平日は町民によるもてなしが不十分になる、集客のためには土日の運行が必須であると思うが見解を伺う。 | |
| 5 | 10 | 中林 孝 (一問一答) | 1. 外部委託業務について 2. インボイス対策について | (1)本市(含、病院、学校、保育園等)で行っていた業務で外部(地域自主組織、三セク、社協、民間等)委託に変更した事業は過去10年間でどのようなものがあるか。 (2)なぜ、これらの業務を外部委託に変更したか。市にとって外部委託のメリット・デメリットについて伺う。 (3)外部委託した結果、市の業務はどう変わったか、変わらないか。 (4)雲南市社会福祉協議会に委託された業務も多いが、結果として県下最大規模の社会福祉協議会となっている。この状況をどう評価するか。事業規模が大きければメリットもある反面、課題や問題が生じる恐れがある。今後も適切に運営できるか。 (1)来年10月から始まるインボイス制度とはどういう制度か。 (2)インボイス制度は本市内において周知されているか。また、準備は十分に進んでいると言えるか。 (3)商工業者が、①免税事業者を選択した場合に課税事業者からの取引を打ち切られたり、②課税事業者を選択した場合には事務の煩雑さや納税義務者となることを理由に廃業の判断をすることも想定される。認識と対策について伺う。 (4)商工業者以外の農業、その他の産業や事業所でも前項のような問題が生じないか。本市の産業は現状を維持、継続できるか。課題があればその対策について伺う。 (5)市役所、総合センター、病院、学校、保育園等(含、委託)の業務や給食等で支障はないか。また、関係する諸団体(三セク、地域自主 | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|-----------------|--|--|--------|
| | | | 3. 信金との連携協 定について | <p>組織、指定管理者など)はどうか。影響や支障があるとすればどのような対策を考えるか。</p> <p>(1)「よい仕事おこしフェア実行委員会」及び「しまね信用金庫」との連携協定が計画されている。目的と意義について伺う。</p> <p>(2)協定締結により市内産業の発展支援にどのようにつなげるか。</p> <p>(3)成果をどのように上げていくか、具体的な方策について伺う。</p> | |
| 6 | 3 | 児玉 幸久 (一問一答) | <p>1. 園児置き去り対 策について</p> <p>2. 三刀屋城をはじ めとした城跡(砦 跡)の保存・活用につ いて</p> | <p>昨年9月に福岡県で、また、本年9月に静岡県で通園バスに幼児が取り残され死亡するという痛ましい事故が発生。そして、11月には、保護者の車に長時間取り残された女児が死亡する事故も発生している。</p> <p>(1)これらの事故を受けて、雲南市ではどのような対応をとったのか。</p> <p>(2)欠席園児の保護者への確認等、各園で定めているルールがきちんと守られているか、抜き打ちのような形での市からのチェックも必要ではないか。</p> <p>市内には戦国時代の尼子氏の拠点であった尼子十旗の一つに数えられる三刀屋城(三刀屋尾崎城)があり、市内には多くの城跡(砦跡)がある。この三刀屋城について学び、地域の活性化に繋げていこうという動きがある。</p> <p>(1)三刀屋城の史跡公園として整備された施設の老朽化が著しい。早急な対応が必要と考えるが、具体的な修繕計画はあるのか。</p> <p>(2)昨年の豪雨災害によるものと思われるが、石垣の一部が崩れかかっている。対応が必要と考えるが、市の見解を伺う。</p> <p>(3)今年度の三刀屋城の学習会に対しては、雲南市及び雲南市教育委員会の後援を受けて実施されているが、今後、様々な活動を展開していくためには、市及び教育委員会の積極的な関与が必要と考える</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|-----------------|----------------------------|--|--------|
| | | | 3. 地域における伝統行事・祭りの継承、存続について | <p>が、市の見解を伺う。</p> <p>(4) 市内に多く存在している砦跡の調査はどの程度なされているか。調査の充実が必要ではないか。</p> <p>(5) 城跡(砦跡)や登山道の維持管理には多大な労力、経費がかかる。市の支援も含め、今後の維持管理に対する市の見解を伺う。</p> <p>(6) 三刀屋城をはじめとした市内の城跡(砦跡)を活用した観光振興に対する市の見解を伺う。</p> <p>(7) 令和5年10月21日、22日に安来市で開催される「全国尼子一族大集会及び戦国尼子フェスティバル」への参加については考えているか。</p> <p>コロナ禍により、市内の各地域における祭り等の伝統行事も実施を見合わせたり、縮小されたものも多いが、今年は例年通り実施されたところもあった。今後、コロナとの共存の中で、祭り等の地域の伝統行事もこれまで通り実施されることを望むが、人口減少・少子高齢化に直面している本市においては、その存続も困難になってきているものも多いと考えられる。</p> <p>(1) 地域における祭り等の伝統行事の継承、存続に対しての市としての基本的な考えを伺う。</p> <p>(2) 祭り等の伝統行事の継承は、一義的にはその地域、地縁者がどう判断するかによる。何とか伝統を守っていただきたいが、担い手や資金等の確保が難しいという場合に、市としてどのような支援が可能と考えるか。</p> <p>(3) 将来的に継承、存続が困難になるものも出てくると考えられるため、記録・アーカイブを整備しておくことが必要と考えるが、市の見解を伺う。</p> | |
| 7 | 9 | 足立 昭二 (一問一答) | 1. 政治姿勢と令和5年度の予算並びに施策について | <p>(1) 市長就任して2年(前半)が経とうとしているが、この間を振り返り感想及び成果と課題は何か問う。</p> <p>(2) 令和5年度当初予算編成方針が示された。雲南市の財政状況につ</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|---|--|--------|
| | | | <p>2. 会計年度任用職員制度について</p> <p>3. 通学路の安全対策について</p> | <p>いて「事務事業のスクラップ&ビルドが進んでいない」とあるが、具体的に説明を求める。</p> <p>(3)市長は就任当時から「地域の特色を生かした地域づくり」を主張しているが、その成果と課題について問う。</p> <p>(4)(2)の一つに「行政組織の見直し」の検討も表明された。総合センターの組織体制の強化、地域自主組織への支援、つながり方もあった。その検討状況と新年度に向けての決意を問う。</p> <p>(1)会計年度任用職員の募集(総務部人事課業務と各部局が行う業務。会計年度任用職員の職員は公募が原則とされているが、公募によらない再度の任用については、上限を設けている自治体、上限を設けない自治体もあると聞く。雲南市の現状)について説明を求める。</p> <p>(2)今年度保育所、こども園では、昨年度までフルタイム会計年度任用職員が今年度はパートタイム会計年度任用職員に変更された。来年度再びフルタイム職員として募集されると聞く。その経過を含めて説明を求める。</p> <p>(3)6月定例会の一般質問で「会計年度任用職員への対応、処遇の改善が必要」と質問した。市長から「処遇等は今後、労使交渉で検討する」との答弁があった。その後の対応を問う。</p> <p>(1)児童数の減少に高齢化が進行する中で、市内小学校の通学路安全対策が求められる。特に歩道のない道路の路肩は土砂・粉塵が多くなり、雨が降った際の道路の水たまりなどで、交通事故の危険性が危惧される。早急な歩道の設置が求められるが、当面土砂の撤去や路肩の白線の補修、横断歩道の旗の更新が必要と考えるが対策を問</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|-----------------|-----------------------|---|--------|
| | | | 4. 墓地移転について | <p>う。</p> <p>(2) 児童数の減による小中学校の統合が進められ、現在も検討中の学校もある。通学の安全対策としてスクールバスの利用も検討すべきと考えるが問う。</p> <p>(1) 墓地の移転は、交通が著しく不便なために移転したい、既存の墓地が災害発生したり、公共事業等により移転する必要があったり、公共、寺院墓地の利用が困難なときなどに生ずると考えるが、移転するには、どのような基準があるのか説明を求める。</p> <p>(2) 市内でも家の近くに墓地を求める方も多くなっている。既存の墓地は家から離れて設置されおり、高齢者は墓参りもできず移転したいが基準が厳しく、基準の緩和を求める声を聞く。検討すべきと考えるが問う。</p> | |
| 8 | 4 | 上代 純子 (一問一答) | 1. 雲南市立病院等の看護師の状況について | <p>(1) 看護師の配置数は、人員配置基準に基づいて定数が定められていると思うが、雲南市立病院はどのような考え方で看護師の定数を定めているのか。また現在、その定数に沿った人員となっているのか。</p> <p>(2) 看護師の結婚休暇、産前・産後休暇、育児休業などは取得しやすい状況か。</p> <p>(3) これらの休暇、休業に対応できるような看護師の職員数や職員配置となっているのか。また、代替え職員の確保はできているのか。</p> <p>(4) コロナ感染の濃厚接触者等に認定されたことにより、突発的に勤務形態の変更を余儀なくされるが、看護師配置の対応はできているのか。</p> <p>(5) 近年働き方の価値観は変わってきており、処遇面はもちろんだが、休日(非番)を大事にされる傾向にあると聞く。現在の勤務体制</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|---------------------|---|--------|
| | | | 2. コロナ禍における経済対策について | <p>において、十分に休日(非番)に休むことができているのか。</p> <p>(6)現場の看護師の方に、今一番望むことは何かを聞いてみた。人員・人材を確保してほしい。定時に帰って育児をしたい。更なる処遇改善をしてほしいとの意見であった。この意見に対して市長はどのように感じるか。</p> <p>(7)幼い子どもの入院の際、保護者が病室に泊まり込んで世話をする「付き添い入院」があるが、付き添いがあるかないかによって、患者に接する看護師の勤務の仕方にも影響があると思うが、どういう対応をされているのか。</p> <p>(8)将来的に看護師不足や、看護師への成り手不足が懸念されると思うが、確保のための方策や、定数、職員配置についてのあり方はどうあるべきか。見直しする点はないのか。</p> <p>(9)市立病院と同様に、雲南市の地域医療を守っていただいている平成記念病院においても、産休代替えやコロナ感染の濃厚接触者と認定されたことにより、看護師配置の対応ができにくいのではないかと感じる。平成記念病院に対する看護師確保への支援や対策はできないか。</p> <p>(1)雲南市宿泊・観光消費喚起支援事業は、市内の56施設での消費喚起に対応いただき市民に好評である。しかし、観光券の販売窓口は16の宿泊施設だけでの取り扱いであり、人員不足の中での対応で手間をとり困っていると聞く。事業者から事業実施にあたって問題提起などはないか。</p> <p>(2)観光券の販売先は、窓口をひとつにするとか、あるいは参加事業者すべてが販売先になるなどの見直しは考えられないか。</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|-------------|---|--------|
| | | | 3. 観光振興について | <p>(3) 今後、より支援事業が充実し、有効なものになるように販売期間の途中や終了後などに、事業者への聞き取りやアンケートを実施されてはいかがか。</p> <p>(4) 今回のような新たな支援制度を設計するにあたっては、関係団体や事業者の意見を聞く必要はなかったのか。</p> <p>(5) キャッシュレス決済消費喚起支援事業が、令和5年2月の実施に向けて準備されている。令和2年に実施された際には効果はあまりなかったように感じる。利用促進ができなかった理由は何か。</p> <p>(6) 原油価格高騰対策のためにタクシー事業者への燃料費補助事業も、交通手段の確保のために必要な事業と思う。一方では、タクシー事業者の事業継続のためには、運転をしていただく方の確保が必要と感じるが、人材確保のための支援策などは考えられないか。</p> <p>(1) 観光振興を進めるにあたっては、雲南市観光協会の関わりが大切で重要と感じる。また、今回の宿泊・観光消費喚起支援事業の問い合わせにも、観光協会の人員が不足していると感じるが、これらの事業の推進のために観光協会の事務局の強化を市として何らかの支援をする必要はないか。</p> <p>(2) 最近では、三刀屋高校ダンス部が観光地を背景にして踊ったり、三刀屋高校掛合分校生が雲南の観光地の魅力について提案をしたり、そのほかの学校においても食の発信や観光情報の発信をされている。若い世代と一緒にあって、雲南らしい観光情報の発信活動への取り組みはできないか。そうした若者たちの活動を後押しする支援策はないか。</p> <p>(3) 雲南を巡る観光タクシーの設置は考えられないか。また、設置に</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|---|--|--------|
| | | | | あたっの支援や、案内をしながら運転をしていただく方など人材確保のための支援策は考えられないか。 | |
| 9 | 16 | 細田 実 (一問一答) | 1. 水道料金の見直しについて 2. 脱炭素宣言と具体的政策に向けて 3. 原子力発電について | (1) 水道料金の見直しを水道審議会に諮問したとのことであるが、「見直し」とは「値上げ」と理解するが、経営状況からどの程度(基本料金や従量負担の考え方)の「見直し」が必要と考えているか。 (1) 雲南市は脱炭素宣言を行ない、今後具体的に取り組むとしている。 ① 施政方針にある「ごみゼロ社会の実現」とはどのようなイメージなのか。 ② 農業における脱炭素の取り組みを通じて身近な取り組みをすべきではないか。 ③ 山間地である雲南市の特徴を生かした再生可能エネルギー、脱炭素の取り組みを具体化すべきではないか。 (1) 政府は原発新增設を検討する考えを示した。一方、今年秋完成と説明されてきた青森県六ヶ所村の再処理工場はまたも完成が延期となった。原発再稼働、新增設となれば核のゴミ問題は一層深刻になり後世に負の遺産を残すことになる。島根原発の使用済み核燃料の搬出も大きな問題を抱えることになる。原子力に頼らない社会の実現にむけ、こうした事態をどのように受け止めているか。 (2) 10月原発特別委員会で福島県双葉町始め福島第一原発を視察し原発事故から11年経過した双葉町の状況及び廃炉作業の状況を視察した。農地を始め放射能に汚染され荒廃した状況をみて改めて原子力災害の怖さ、復興の困難さを実感した。双葉町副町長からは「事故は起きないものとも思い込んでいたが、事故はおこりうる」との | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|-----------------|-------------------------------------|---|--------|
| | | | 4. 第3次総合計画 策定について 5. 平和行政について | <p>趣旨のお話があり、原発事故に備える重要性を認識した。実効性ある避難計画をはじめどのように取り組む考えか。</p> <p>(3) 原発事故避難訓練が実施されたが、そこから得られた教訓は何か。</p> <p>(4) UPZ 内の避難計画は原発事故発生時の屋内退避となっているが、その場合の水、医療、介護など避難しない計画も立てる必要があるがどのように考えているか。</p> <p>(1) 第3次総合計画策定に向け若者、女性の意見をどう反映するか。</p> <p>(1) 平和首長会議に出席された。テーマであった『「平和文化」を根付かせる』市長の考えを伺う。</p> | |
| 10 | 1 | 多賀 法華 (一問一答) | 1. 子育て支援センターについて | <p>(1) 遊戯室、庭、図書室、授乳室など、多様な方たちが、空間を共有できる場、また相談室など静かに利用できる空間を作ることが大切だ。建てる前には必ず子育て支援センターの職員、利用者の方、特に「くりおね」を応援する会の皆さんの意見を十分に聞いて反映させていただく必要があると思うが、いかがか。</p> <p>(2) どのような手順で意見交換をされる予定か伺う。</p> <p>(3) 子育て支援センターと相談機能を連携することは市民にプラスである。今までも取り組んでおられるとは思いますが、母子包括支援センター「だっこ」との更なる連携ができないか。市長は子ども政策局と健康福祉部との連携をすすめる考えを持っているか。伺う。</p> <p>(4) ハード面より大事なのがソフト面である。とりわけ、福祉分野、子育てや介護は、戦後、その役割を女性が無償で担ってきたため、誰でもできる仕事と価値を低くみられがちだ。島根県内、雲南市内</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|---------------|--|--------|
| | | | 2. ハラスメントについて | <p>ともまだまだ育児は女性がするものという風土が感じられ、子育て支援センターについての意見交換でも母親の姿が多かったように感じる。今、男性の育児参画も徐々に始まり、育児の大変さ、大切さが男性にも理解されつつあると思う。「くりおね」も、男性の育児に関する勉強もできる場として育ってきているということで、この動きは減速させてはならない。また、ハード面が変わる時には、落ち着くまでは慣れた先生にいてもらいたいものである。子育て支援センターはもともと会計年度任用職員で1年契約であり、異動があるものと11月の教育民生常任委員会で説明されたが、それは本当に効果的か。伺う。</p> <p>(5)特にハード面が変わろうとする今の時期の会計年度任用職員の異動は効果的ではないと考える。また、精神的に不安定になりがちな産後の母親への支援を手厚くするため、可能な限り同じスタッフが継続対応する必要がある仕事である。このことは、政府が総合経済対策に盛り込む出産・育児の「伴走型相談支援」の概要にも明記されている。が、いずれ異動はあるものと考え。そのためにはきちんとした人材育成の仕組みは不可欠だ。どのように取り組むか。伺う。</p> <p>(1)令和2年の12月定例会の一般質問で、地域自主組織のハラスメント予防の対策について答弁をもらったが、予定通り、対策がすすんでいるのか。効果はあったのか伺う。</p> <p>(2)私のところには、未だ、ハラスメントを受けた結果として退職を余儀なくされたという状況は変わっていないという声が入ってきている。現状の対策だけではまだ不十分ではないか。県に相談したが、</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|-------------|---|--------|
| | | | 3. 情報保障について | <p>市には民間で起こっているハラスメントには権限がないので、市ができることは少ないと聞いた。労働基準監督署とも相談しながら、ワークショップなども取り入れたりするなど、更に効果的な研修が必要と考えるが、いかがか。</p> <p>(3) 地域自主組織で働いておられる皆さんに匿名でのアンケート調査やハラスメントがおきやすい職場の環境アセスメントの実施を検討する必要があると思うが、いかがか。</p> <p>(4) 同じことを繰り返さない。みんなでなくすという意識が必要。なぜ、ハラスメントをされた側が辞めなければならない状況を変えられないのか。仕方がないではすまない。強い意志を持ってみんなで行き組んでいかなければならない。諦めないと言言できるか。伺う。</p> <p>(1) 情報保障とは、情報収集をすることが難しい方たちに対して、代替手段を使って情報を提供することである。特に「聴覚障がい」について、手話通訳や字幕などをつける要約筆記を利用して、ろう者・難聴者・中途失聴者と聴者を相互につなぎ、その場にいる全ての方たちが同じ情報を共有できる状態にすることを指す。聴覚障がい者のうち、手話ができる方はごくわずかだが、聴覚障害＝手話のイメージが強く、手話付きのみの講演の方が多いと聞く。要約筆記が増えることで、情報不足に苦しんでおられる難聴者、中途失聴者はもとより、加齢によって聞こえにくくなった高齢の皆さんも情報が得られるようになると思う。これは、人権を守ることにもつながるが、人権イベント以外で要約筆記がある会をあまり見たことがない。市が実施主体となる講演会やイベントなどでの要約筆記の実績と、会の内容について伺う。</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|-----------------|-------------------|--|--------|
| | | | | <p>(2)松江市や出雲市などでは、成人式や福祉部局が企画した講演会にも実績があると聞く。少しずつでも要約筆記をつける機会を増やしていく必要があると思うが、いかがか。</p> <p>(3)要約筆記は手話に比べて認知度が低く、育成するための募集をかけても雲南市では応募者が少ないと聞いた。まずは市が必要を理解し、認知度を高めていく必要があると思う。学校での学習に加え、広く目に止まるよう多くの現場に要約筆記をつけることが広報活動の近道と思う。まずはそういった周知が大切と思うが、市はどのように考えているか伺う。</p> | |
| 11 | 8 | 上代 和美 (一問一答) | 1. 大出日山風力発電計画について | <p>(1)大東町と安来市を境とする大出日山(おおしびさん)に風力発電計画が昨年よりジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社で進められている。現在、11月22日から12月21日まで「環境影響評価と計画段階配慮書」の縦覧を市民に行う段階となっている。民間の事業とはいえ、市民や議会への情報の提供も遅すぎるのではないか。環境問題にもかかわる問題であり、重要な問題として質問する。</p> <p>①事業の開始からこれまでの経過を伺う。</p> <p>②事業計画に対して市の関与がはっきりしていないが、市はこの計画をどれだけ把握し、どのような関与をされるのか。</p> <p>③土砂災害リスク、低周波や騒音、シャドーフリッカーなどの健康被害、飲料水や農業用水など水資源の問題、コウノトリなど鳥類の「バードストライク」や生存・繁殖に与える影響など多くの問題に対して、「雲南市環境基本条例」に基づいた問題点を市として調査すべきではないか。見解を求める。</p> <p>④「雲南市脱炭素宣言」では、「雲南市のめざす脱炭素社会を構築す</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|--|---|--------|
| | | | <p>2. コロナ第8波への備えについて</p> <p>3. 小中学校のトイレの改善について</p> | <p>るため、地域での取り組みをはじめ、温暖化対策と地元経済の好循環を推進」とうたっている。エネルギーの地産地消で循環型社会をつくることと理解しているが、この風力発電で地域経済の発展や雇用の創出につながるのか。見解を伺う。</p> <p>⑤今後、時宜を得た丁寧な情報提供が広く市民に伝わる必要があるとともに、「雲南市環境基本条例」や「雲南市脱炭素宣言」に基づいた市の関与が必要である。見解を求める。</p> <p>(1) コロナ感染がじわじわと拡大しつつある。第8波はインフルエンザとの同時感染拡大が懸念され、様々な状況を想定して備える必要がある。</p> <p>①発熱した人だれもが医療にアクセスできるよう、市内の発熱外来の体制は強化されているか。</p> <p>②県は230万回分の検査キットを確保していると聞いているが、市独自でも検査キットの確保をし、特に重症化リスクの高い高齢者福祉施設などで検査キットの不足が生じないように備えておく必要があるのではないか。</p> <p>③感染者の自宅療養は大変不安である。特に基礎疾患があり、症状がある人へ保健所と連携し、訪問などを含めた丁寧な対応が必要ではないか。</p> <p>(1) 小中学校のトイレについては、今年度当初予算で小中あわせて99基のトイレの洋式化が予算化され、工事が進められている。洋式化率は約30%から約45%となり、一定前進はしたが、子どもたちの学校生活環境の改善にはまだまだと言わざるを得ない。今回の改修は洗浄便座で温かい便座のものだが、これまでに改修され洋式トイ</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|-----------------|---|--|--------|
| | | | | レは便座が温まらないものがほとんどである。子どもたちが少しでも快適に学校生活をおくれるように、洗浄便座にこだわらず温かい便座を早急に検討すべきである。見解を伺う。 | |
| 12 | 12 | 中村 辰眞 (一問一答) | 1. 国民健康保険高額医療制度について 2. 各種リボン運動について | 厚生労働省によると、「高額療養費制度とは、医療機関や薬局の窓口で支払った額が、ひと月(月の初めから終わりまで)で上限額を超えた場合に、その超えた金額を支給する制度です。」とある。 (1)国民健康保険の保険者はどこか。 (2)本市の保険料納付期日は毎月何日か。 (3)市立病院の毎月の請求書発行は月に何回か。 (4)居住自治体外(県外)に転出し住民票を移動すれば、保険者も転出先に変更となる。月途中での転出の場合、保険者は転出前後で保険者が異なり当該月に関しては、1人の被保険者に対して2つの保険者が存在する。保険料納付した保険者と納付されていない保険者とが共存する形となる。この場合の医療機関からの保険請求はどのように行われているのか。 (5)旧居住及び転出先居住地の保険者から医療機関へ支払われたとして、入院診療費の請求を受けたケースが本市で発生している。国民健康保険の制度上の問題であり本来は国として対応すべきではあるが、高額医療費制度の考え方と相反するのではないかと考える。市民の中に現実として起こっている事案である。市長の見解、私見を伺う。 9月のピンクリボン運動(乳がん撲滅キャンペーン)、10月のグリーンリボン運動(臓器移植理解推進月間)。11月のブルーサークル(世界糖尿病デー)、パープルリボンキャンペーン(DV女性に対する暴 | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|----------------------------------|---|--------|
| | | | 3. 市民バスの現状と高齢者等運転免許証自主返納支援事業について | <p>力をなくす運動)、オレンジリボン運動(こども虐待防止)、12月のレッドリボン(世界エイズデー。世界レベルでのエイズ蔓延防止、患者や感染者への差別、偏見の解消を目的とする)など医療、福祉などに対する取り組みがある。</p> <p>(1)9月から12月にかけての各種リボン運動に対する本市の取り組みを伺う</p> <p>(2)前述した運動の中で市からの補助金等の支出がされている運動はあるのか伺う。</p> <p>市民バスは、本市の公共交通機関の中心にあるものと考えている。多少の差はあっても市民は同等の恩恵を受けることができなければならない。本市では、令和2年度から令和6年度までの5年間の計画期間として「雲南市地域公共交通網形成計画」が策定された。策定経緯の説明の前段には、平成23年度には雲南市民バス再編計画を策定し、デマンドタクシー導入など雲南市内の公共交通再編を進め、再編計画に位置付けた再編事業が完了したとある。</p> <p>(1)デマンドタクシー導入後、公共交通機関の空白地域が拡大したように感じる。解消に対する見解を伺う。</p> <p>(2)木次町の場合、西日登から東日登へは市民バスで行くことができない。範囲を市内全域に拡大してみても、同一町内でありながら市民バスで行き来できない地域が多くある。この現状をどのように受け止めているのか見解を伺う。</p> <p>(3)三刀屋高校生が通学時の市民バスは、きわめて過密乗車となっている。2台運行をすることで解消できると考える。乗務員や車両の都合もあるが見解を伺う。</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|-----------------|---------------------|---|--------|
| | | | 4. 新型コロナウイルス感染症について | <p>(4) 運転免許を自主返納された市の周辺地域在住の方から、優待乗車券をもらったが市民バスもなく、使用期限もあり使うことができない。自主返納したことを後悔しているとの声をいただいた。自主返納者に対しては使用期限を解除し、長い時間をかけてでも使用できるような工夫が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>コロナ感染症については8回目の感染拡大が懸念されている。何人かの同居家族の罹患者経験者や濃厚接触者経験者から体験を聞く中、対応の仕方などを観念として理解をしていた。今回自身が実体験したことにより見えてきた疑問があった。</p> <p>(1) 高齢者と障がい者のみで構成される家族において、罹患者が確認された時のサポート体制はどのようになっているのか伺う。</p> <p>(2) 陽性者の健康チェックをインターネット経由で行うようになっている。その内容を理解できない場合もあると考えられる。この場合の対応について伺う。</p> <p>(3) 抗原検査キットは医療用の購入が求められる。キット購入に対する助成については、9月定例会の答弁で行わないとされた。高齢者と障がい者の家庭において医療用検査キット購入は家計に対しての負担割合が極めて大きい。補助は必須と考えるが見解を伺う。</p> | |
| 13 | 2 | 安田 栄太 (一問一答) | 1. 部活の地域移行について | <p>(1) 本年3月定例会で一般質問した中学校における部活動の地域移行について、指導者の育成と確保、競技団体との連携、運営主体の確保、財政支援、保護者や地域の理解などの課題を挙げられた。地域文化部活動推進事業、地域運動部活動推進事業の成果として現在どのようになっているのか。生徒の反応はどうか。</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|--|---|--------|
| | | | <p>2. マイナンバーカード推進について</p> <p>3. 畜産振興について</p> <p>4. 林業振興について</p> <p>5. 幸せを運ぶコウノトリと共生するまちづくりについて</p> <p>6. 消防団の団員報</p> | <p>地域への完全移行に向けての今後の課題解決の見通しは。</p> <p>(1)自治体 DX など行政のデジタル化を進めていく上でマイナンバーカードの普及は絶対条件である。</p> <p>①本市の普及率は上がってはきているが手続きが面倒との声を聞く。行政書士の派遣など支援しているが、2 名体制では不足ではないか。体制強化の考えはあるか。</p> <p>②個人情報の取り扱いについての不安からカードの申請に躊躇している市民も多くいる。広報の強化を図るべきと考えるが、見解は。</p> <p>(1)第 12 回全国和牛能力共進会において、本市から出品された霞久茂 432 号は肉質日本一となった。今後の展開をどのように進めていくのか見解を伺う。</p> <p>①販路獲得に向けて、どのように取り組んでいくのか。</p> <p>②観光資源としても活用できると考えるが、見解は。</p> <p>(1)森林環境譲与税の見直しにより、2024 年度に新たな配分方法が導入される。これにより本市は配分が増額される見通しだが、どこを強化していく考えか。見解を伺う。</p> <p>(1)幸せを運ぶコウノトリと共生するまちを謳う本市において、イメージの活用としての取り組みが弱いように感じる。定住や子育ての分野でもっと活用できると考える。</p> <p>①本市の出生数は年々減少しているが、一方で子供が欲しくても恵まれない家庭や育てたくても育てられない事情の家庭もある。赤ちゃんはコウノトリが運んでくるイメージと、里親制度などと結び付けて支援していく事などができると思うが、見解を伺う。</p> <p>(1)団員報酬に関して、雲南市消防団の処遇等に関する検討委員会か</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|-----------------|---|--|--------|
| | | | 酬について | ら、個別に振り込みすることが適切であるとの報告がされたとのことだが、その際手数料や事務作業などこれまでより余計な経費がかかることになる。全国的に適正な報酬が受け取れない事例があったことからこのような方針となったと思うが、本市の消防団において、このような事例があったのか。 | |
| 14 | 11 | 松林 孝之 (一問一答) | 1. 医療のデジタル 化について 2. GIGA スクール 構想について | (1) 政府から医療分野のデジタル化を推進される中、国内で複数の医療機関がサイバー攻撃により診療に大きな混乱が起きている。 ①市立病院のセキュリティ対策は。 ②平成記念病院をはじめとする市立病院と情報連携する民間医療機関のセキュリティ対策を把握しているか。 ③市立病院の眼科のみが電子カルテを導入されていないが、なぜか。 (1) GIGA スクールのタブレット配布から 1 年が経過するが、活用状況と今後のビジョンを伺う。 ①各小中学校における活用状況は。 ②導入初期から現在の活用期における教員のスキルを、どのような進捗状況と認識しているか。 ③それぞれの中学校と小学校での運用差により、児童生徒の活用に格差(個別・環境)が起きているか。 ④市内 3 高校ではノウハウを有する地域人材が授業に参画することで ICT 利活用が促進されていると伺うが、小中学校にも導入してはどうか。 ⑤国が目指す GIGA スクール構想の「学びの変革(主体的・対話的で深い学び、アクティブラーニング)」という観点における、雲南市版 GIGA スクールの状況は。 | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|--------------|---|--------|
| | | | 3. 高校魅力化について | <p>(1) 三刀屋高校野球部は秋の大会の成績により、春のセンバツ高校野球の 21 世紀枠の推薦校となった。また、ダンス同好会は全国の高校ダンス部の応援企画で YouTube 動画配信され、大きな注目を集めている。掛合分校では演劇同好会の活動が映画化され異例とも言えるほどの反響を呼び、更に大東高校バレー部は第 21 回全日本ビーチバレージュニア男子選手権において全国制覇し、それぞれの高校が市内外からの注目度が高くなっている。今こそ魅力化を加速し入学希望者を増加させるチャンスである。</p> <p>① 三刀屋高校は寮が完備されているが、現状においても入寮希望者の増が見込まれている。また、大東高校には寮が無いことから市外からの入学生の受け入れが進まない実態がある。以前「チャレンジハウス」というシェアハウス構想があったがどうなったのか伺う。</p> <p>② 各高校のこれまでの部活動に加え、三刀屋高校ダンス同好会や掛合分校演劇同好会は、まさに高校生の「青春」を描き、その発信力は未知数ともいえる。活動の拠点となる市有施設を開放し、市民の目に留まる展開を導き出し、彼らならではの SNS 等を駆使した発信力を生かし、市内 3 高校の魅力をリンクした広報活動支援が必要ではないか。</p> <p>③ ビーチバレー競技は、現在県内ではトップの指導体制が整い、大東高校と三刀屋高校が合同で練習した結果、全国制覇の成績を残したが現在の練習会場はトイレ等の課題がある。市民への活動状況の発信、また、興味を持つ小中学生への注目度を上げるためには活動拠点の整備が必要ではないか。</p> <p>④ 高校の部活動は「中学生の高校選び」に対し、最も大きなウエイ</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|-----------------|--|--|--------|
| | | | | トを占めている。新たな魅力を加えることで「選ばれる高校」になるチャンスでもある。地域や小中学校での活動と繋がり、引き続き高校でも活躍できる部活動の推進を高校、地域、行政が一体となっ て行うべきではないか。 | |
| 15 | 15 | 周藤 正志 (一問一答) | 1. 人口減少対策に ついて 2. 脱炭素社会につ いて 3. デジタル社会に ついて | 令和4年10月1日現在の市の人口は、34,646人(県推計人口)で、 令和3年(1月～12月)の自然動態は出生173人、死亡626人で453 人の減、社会動態は転入651人、転出925人で274人の減、合わせ て727人の減であった。 (1)「子育てするなら雲南市」とは裏腹に出生数が過去最少となり、 少子化が一段と加速している。結婚・出産、子育て支援などどう対 処していく考えか。 (2)若者世代、子育て世代における2022年度「住みたい田舎」全国 1位に輝いたが、残念ながら転入者数も過去最少となった。社会増 に向けた現行の諸施策をさらに充実・強化しなければならないの ではないか。 (1)なぜ脱炭素に取り組みねばならないのか。私たちの生活をどう変 えていかなければならないのかという基本的な事柄の市民全員への 啓発活動がまずは必要だ。わかりやすい動画を制作し、HP、ケーブ ルTV、学校、地区説明会等に活用したらどうか。 (2)民間では、ペットボトルや食品トレイを回収し、リサイクルして いる所もあるが、市ではもえるゴミであり、わかりにくく整合して いないのではないか。 国のデジタル田園都市構想を受けて市内にデジタル化を推進する 検討会議が立ち上げられた。市長が現在考えているデジタル社会と | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|--|--|--------|
| | | | <p>4. キャッシュレス 決済消費喚起支援 事業について</p> <p>5. 道の駅活性化ビ ジョンについて</p> <p>6. 中心市街地活性 化事業について</p> <p>7. 木次線観光誘客 事業について</p> <p>8. 風力発電事業に ついて</p> <p>9. 木次子育て支援</p> | <p>はどのようなものであり、私たち市民生活は何がいつどう変わっていくのか。</p> <p>物価高騰対策及びコロナ禍の消費喚起併せてキャッシュレス決済利用促進を目的として「ペイペイ」のキャッシュバックキャンペーンが実施される。特定の利用者だけの利益であり、かつ特定の事業者への利益誘導ではないか。</p> <p>道の駅活性化ビジョンの中間報告がされたが、産直を充実強化する考えが見えない。市長は産直を農業振興の大きな柱としておられるが、改定中の農業ビジョンとの整合性はもとより、取り組みの連携が図られているのか。</p> <p>コトリエット周辺整備は既に事業年度が過ぎたが、未だ空き店舗は埋らず、ホテル建設も進まず、加えて親水公園など未着手の事業もある。中心市街地の活性化とは言えない状況でどう総括しているのか。また木次駅周辺整備へと続くのか、今後の中心市街地活性化事業をどうするのか。</p> <p>ラッピング車両の導入やあめつちの乗り入れがどれほどの誘客をもたらすのか不明だが、木次線の厳しい状況は変わらない。存続の危機にあることを踏まえて、鉄道番組に取り上げてもらったり、インフルエンサーを活用したりして全国の注目を集めることが必要ではないか。</p> <p>大東町地内で風力発電事業の調査・検討が進められている。再生可能エネルギーは推進しなければならないが、風力発電に伴う低周波音の人体・健康への影響はないのか。</p> <p>木次子育て支援センターを移転・新築するとの方針がやっと示され</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|-------------------------------------|---|--------|
| | | | センターについて 10. 市長の市政運 営について | <p>たが、供用開始が令和7年4月であり、時間がかかりすぎる。その間、斐伊保育所の狭隘問題は解決されずにいるが、このままでいいのか。また約2億円の事業費見込みであるが、かかりすぎるのではないか。</p> <p>市長が就任されやがて2年となる。これといった成果がなく、市民からは何がどう良くなったのか、何がどう進んでいるのかわからないという声を聞く。これまでの市政運営をどう自己評価されているのか。また新年度予算編成時期でもあり、3年目に向けての基本的な考えと決意を伺う。</p> | |